



イネンちゃん



イネにゃん



最新のエアコンは10年前のものに比べると、約10%の省エネにつながります！！電気料金に換算すると年間で約2,700円の節約になります。

※現在販売されている省エネ機器の性能等については、「省エネ性能カタログ2017年冬版」をご覧ください。

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/more/pdf/winter2017.pdf



天然ガスを利用したエネルギー設備投資を支援する取り組み紹介します

天然ガス特集

日本では、エネルギーの安定供給対策や環境負荷が少ないエネルギーの利用促進に取り組んでおり、環境負荷の少ない天然ガスの利用拡大に活用できる補助制度をご用意しています。

今般、北海道内ではLNG（※）基地の整備が進んでいることから、補助制度と道内の採択事例を紹介します。

※LNG：液化天然ガスの略でメタンを主成分とした天然ガスを冷却し、液化したもの。石油や石炭などの化石燃料に比べCO2排出量が比較的少ないクリーンなエネルギー資源です。

①天然ガスの環境調和等に資する利用促進事業費補助金のご紹介

災害時の強靱性に優れた中圧ガス導管等で天然ガス供給を受ける「①天然ガス利用設備」や「②天然ガスステーションの設備」の導入等を支援しています。

予算額は12.5億円であり、昨年度から1.5倍となっています。

公募要領等の詳細は、以下の(一社)都市ガス振興センターHPをご参照ください。

<http://www.gasproc.or.jp/ngas/main.html>

【制度のポイント】

- 対象設備は、国や地方自治体の防災計画指定や震災時の物資提供協定、災害時の協定を締結している(見込みを含む) 施設や工場、事業場に設置される天然ガスを使用する設備。
- 更新や改造だけでなく、新設にも利用できる天然ガス設備投資に特化した補助金。
- 家庭用需要を除く全業種が申請可能。

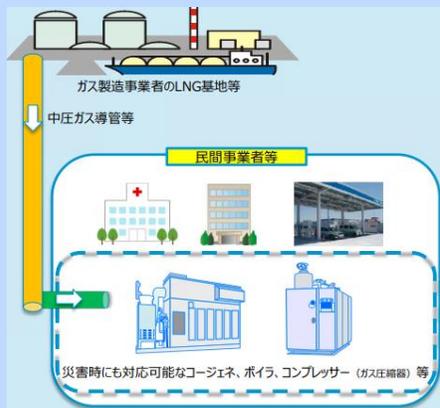
【補助率（補助金上限額）】

- ①1/3以内（1.7億円）
- ②1/2以内（0.8億円）

【公募期間】

4/23(月)～6/4(月) (消印有効)

※7月上旬交付決定（予定）



②平成29年度採択事例（(株)ホクビー（石狩新港工場））

【企業概要】 <http://www.hokubee.co.jp/>

- 国内外に脂肪分の少ない牧草飼育牛肉を独自の技術で加工する製造拠点を構え、低コストで安全・安心な加工牛肉を販売している事業者。
- 原料の細菌検査を、抜取検査ではなく全量検査を実施する他、工場稼働時間の1/3を洗浄・殺菌工程とするなど、徹底的な衛生管理と品質向上に取り組む。
- 地元である道産牛を使用した高付加価値商品開発も手がけ、コストとみられがちな省エネ・環境対策も、会社を上げて取り組む環境配慮型グローバル企業。

【導入設備概要】

- 加熱・殺菌等蒸気ボイラーをA重油から天然ガスに転換（2.0トン/h×3台）
- 空調用機器をA重油から天然ガス冷温水機に転換（100USRT×1台）

【補助事業活用による環境・生産・地域への貢献】

- 環境への貢献：エネルギーコスト削減とCO2削減効果約30%削減
- 生産への貢献：スヤや腐食減少によるメンテナンス（ランニング）コスト低減
- 地域への貢献：災害時における「災害時等における避難者移送」、「食料品及び生活用水の供給協力」について石狩市と協定を締結



木質バイオマス活用事例の紹介（美深町）

北海道経済産業局では、再生可能エネルギーの一つとして注目されているバイオマス（※1）の地産地消の取組を支援しています。今般、地域資源である木質バイオマスを活用している美深町の取組をご紹介します。

※1 バイオマス：森林の間伐材、家畜の排せつ物、食品廃棄物など、生物から生まれた資源のこと。

◆木質バイオマスボイラーの導入

面積の86%を森林が占める美深町では、切り捨て間伐等未利用の低質材の活用に取り組み、町営の「びふか温泉」に木質バイオマスボイラー（出力:550kW）を導入しました。温泉加温、施設の暖房、給湯用途として使用していた燃料を重油や灯油から木質チップに転換することで地域資源を有効活用しています。



木質バイオマスボイラー



◆木質バイオマス活用のメリット

本ボイラー導入による燃料転換で年間290t程度のCO2削減につながったこと、地域資源の活用で重油等の購入に伴い町外に流出していた資金が、町内で循環するようになったことは大きなメリットとなっています。

また、同町では本ボイラー導入に伴うCO2削減量を、国が認証するJ-クレジット制度（※2）へ登録しています。町主催のイベントに伴い発生するCO2を、カーボンオフセット（※3）することで、環境にやさしいイベントとして開催しています。

こうした取組みを広報等で周知することで、町民の環境意識向上に役立てています。

※2 J-クレジット制度：中小企業等が省エネ設備などの導入によって、排出される温室効果ガスを減らした場合、その減らした分を国がクレジットとして認める制度。

J-クレジット制度の詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokni/jcredit/index.htm>

※3 カーボンオフセット：自ら排出し減らすことができないCO2を、「クレジット」の購入などにより埋め合わせ（オフセット）すること。

<環境・リサイクル課>

平成30年度「省エネ大賞」募集中

一般財団法人省エネルギーセンターでは、優れた省エネ活動事例や技術開発等による先進型省エネ製品等を表彰し、省エネルギー意識の浸透、省エネルギー製品の普及促進等に寄与することを目的として「省エネ大賞」を募集しています。

- ◆応募区分：省エネ事例部門、製品・ビジネスモデル部門
- ◆応募締切：平成30年6月20日（水）必着

【問い合わせ先】

一般財団法人 省エネルギーセンター 省エネ大賞事務局

TEL：03-5439-9773

詳細は、以下のURLをご覧ください。

<https://www.eccj.or.jp/bigaward/start18/index.html>

<平成29年度 道内受賞企業のご紹介>

- ◆部 門：製品・ビジネスモデル部門
- ◆表彰種別：中小企業庁長官賞
- ◆受賞者名：(株)テスク（札幌市）、(株)テスク資材販売（札幌市）
- ◆テーマ名：プラスチックを用いた高効率柵状熱交換器「排湯君（ハイトウくん）」
- ◆概 要：温泉や源泉から排出された温水から未利用の熱を回収するための樹脂製熱交換器。これまで多用されていた金属製プレート式熱交換器が持つ腐食、目詰まりといった課題を解決する独自の樹脂製で柵（さく）状の熱交換器を開発。



プラスチック樹脂製熱交換器



<エネルギー対策課>

問い合わせ先

経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室

TEL：011-709-2311 内線：2634

E-mail：hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp

